

各府省庁との意見交換に係る資料

平成27年11月20日(金)

群馬県

森林技術総合研修所

①研修及び宿泊で利用可能な施設の整備状況

- ・移転に必要な用地は旧馬山小学校跡地で下仁田町所有であり、国のニーズに対応可能です。
- ・研修生の宿泊場所は、町内を始め近隣市町村の宿泊施設と利用提携により、安価での利用が可能です。

(下仁田温泉清流荘、常盤館、割烹旅館下仁田館、大井田旅館 等)

②宿泊に伴う受講者の費用の見込み

- ・研修生の宿泊場所は、町内を始め近隣市町村の宿泊施設と利用提携により、安価での利用が可能です。

③移転により新たな付加価値を創出するための取組(現地実習プログラム等)の具体イメージ

- ・森林組合の加工所を始め多くの民間製材所があり、研修に係る材料の提供や共同研究等の協力が可能です。
- ・特用林産物の生産における分野や森林セラピー、登山道整備工法の活用にも林業技術を活かせるよう研修、実習のためのフィールドの提供が可能です。
- ・群馬県内町村1位の材積量を誇る町有林を利用した森林整備(伐採・間伐)の研修、実習が可能です。
- ・平成26年度からの森林整備を目的とした「ぐんま緑の県民基金事業」の森林伐採、植栽や管理の事業実施を行うことにより一連の林業作業を把握することができます。
- ・造林地におけるシカの食害が深刻化しており、防止対策を実践するのに相応しい地域です。

④受講者や講師の交通利便性を確保する方策

- ・鉄道、高速バス、高速道路による交通の便は良好であり、全国各地からのアクセスが便利です。

国土交通大学校

①研修及び宿泊で利用可能な施設の整備状況

・前橋駅周辺の研修・講演等可能な施設

前橋市中央公民館3階ホール(収容人数470人)

前橋市民文化会館(大ホール1200席、小ホール600席、他5会議室
定員20～100人)

市町村会館(大研修室 定員470人、研修室2室 定員96人・72人)

群馬会館(大ホール全席数410席、他8会議室 定員24～100人)

前橋テルサ(ホール全席数534席、他10会議室 定員26～160人)

・前橋駅周辺の宿泊場所

カントリーホテル前橋、東横イン、コンフォートホテル前橋

グレースイン前橋、アパホテル前橋駅北、前橋テルサ

・板倉ニュータウン内に宿泊施設用地を確保することや民間事業者との連携による宿泊施設の確保を図る。

②宿泊に伴う受講者の費用の見込み

カントリーホテル前橋、東横イン、コンフォートホテル前橋
グレースイン前橋、アパホテル前橋駅北、前橋テルサ

③移転により新たな付加価値を創出するための取組(現地実習プログラム等)の具体イメージ

- ・首都圏の水瓶 ハツ場ダム関連事業の現地研修の実施
 - ダム本体:重力式コンクリートダム 堤高H=116.0m 堤頂長L=290.8m
 - ダム本体の他、(国)145号付替工事、代替地造成工事、地滑り対策工事などの関連工事も現地実習プログラムに組み込むことも可能
- ・前橋市中心市街地活性化に向けた取り組みに関する現地研修の実施
 - 市街地の拡散や集積機能の低下などにより中心市街地の魅力が低下している当該地域において、今後、前橋市アクションプログラム重点プロジェクト(H26年6月策定)に基づいて、土地利用増進施策や魅力ある都市空間整備などが予定されており、それらの取組事例に関する現地研修が可能である。LRT導入の検討も進められている。
- ・群馬大学、東洋大学(板倉キャンパス)との「学・官」連携による研修プログラムの実施。
- ・渡良瀬遊水地、利根川及び渡良瀬川での現地視察等、研修プログラムの実施。

④受講者や講師の交通利便性を確保する方策

- ・羽田空港から高速バスが直行便運行(8本／日 片道運賃大人3600円
所要時間3h35分)
- ・成田空港から " (10本／日 " 4650円
所要時間3h45分)
- ・秋葉原・新宿・池袋・練馬から " (6本／日 " 1550円
所要時間3h25分)
- ・前橋駅南口発7:20 新宿着9:45 により 10:30ころから 国土交通省本省での打ち合わせは可能。新宿発22:30 前橋駅南口着23:25 の最終で日帰り可能。
- ・新幹線活用では、講師との打ち合わせが国土交通省本省の場合、前橋駅(JR)から桜田門駅(有楽町線)で、約1時間50分、片道大人4575円で日帰り圏内である。
- ・また、講師との打ち合わせ場所を、さいたま新都心にある合同庁舎会議室とする場合、前橋駅(JR)から さいたま新都心駅(JR)で、約1時間30分、片道大人3330円である。
- ・東武鉄道との連携による運行ダイヤの適正化を検討。
- ・板倉町との連携による町営バスの運行適正化を検討。
- ・板倉町との連携によるレンタサイクル、駅前駐輪場の設置(受講者や講師の利便性確保)。

国立公文書館

①地域の自治体・民間等と連携して、又はそのポテンシャルを活かして高い効果が期待できるか

当該機関の移転により、県内の経済団体や全市町村などとともにバックアップ拠点の立地や企業の本社機能誘致に取り組んでいる「群馬県バックアップ機能誘致協議会」を活かし、他の文書保管庫やデータセンターなどの関連施設を呼び込むに当たり、高い効果が期待できる。

②施設整備に係る国の新たな財政負担は極力抑制。組織・人員の拡充方向が出ているもの以外は肥大化を抑制

今後検討される新たな国立公文書館に向けての議論によるが、用地の用意の他、関係職員の居住環境への配慮など必要に応じて支援協力したい。

③危機管理に関わるものでないこと、国会や他省庁との対面業務が必須でないか

資料・データのバックアップ機能として、危機管理や国会・他省庁の対面業務への影響はマイナスではなく、むしろプラスに働く面もあると考えられる。

④政策の企画立案・実施に効果が期待できるか

将来的な書庫の確保の見通しにおいて、取り得る政策の企画立案・実施に幅を持たせることができ、効果が大きいと期待できると考えられる。

吾妻の流れを、明日の暮らしに生かします

ハッ場ダム建設計画の概要

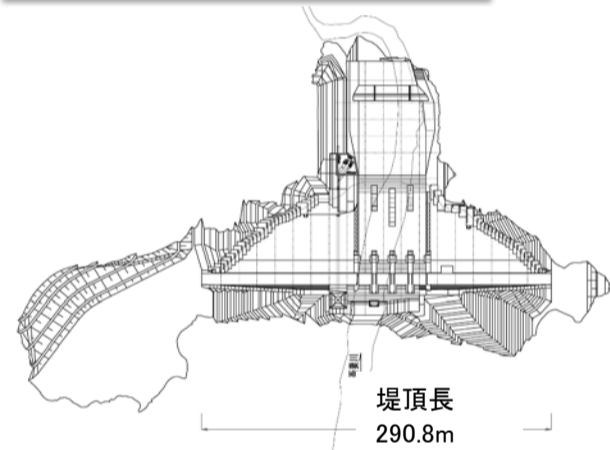
吾妻川は、その源を群馬・長野県境の鳥居峠に発し、浅間山・草津白根山の中間を東流して、万座川・熊川・白砂川等の支川を合わせ、途中、吾妻峡と称される美観をつくりながら、さらに温川・四万川・名久田川等の支川を合わせ、渋川市付近で利根川と合流する一級河川です。流域面積は約1,356km²となり、幹線流路延長は約76kmにおよぶ、利根川水系の代表的な支川の一つです。

ハッ場ダムは、群馬県吾妻郡長野原町(利根川水系吾妻川)において建設中の洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダムです。工期(完成予定年度)は平成31年度、建設に要する費用の概算額は約4,600億円を予定しています。

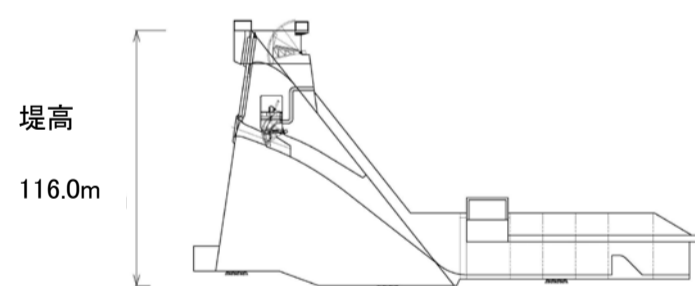
●利根川の概要

流域面積 16,840km²
幹線流路延長 322km

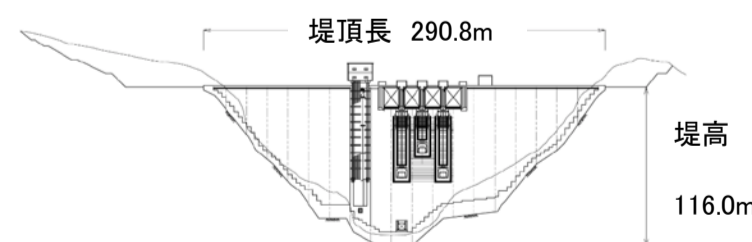
ダム平面図 注1



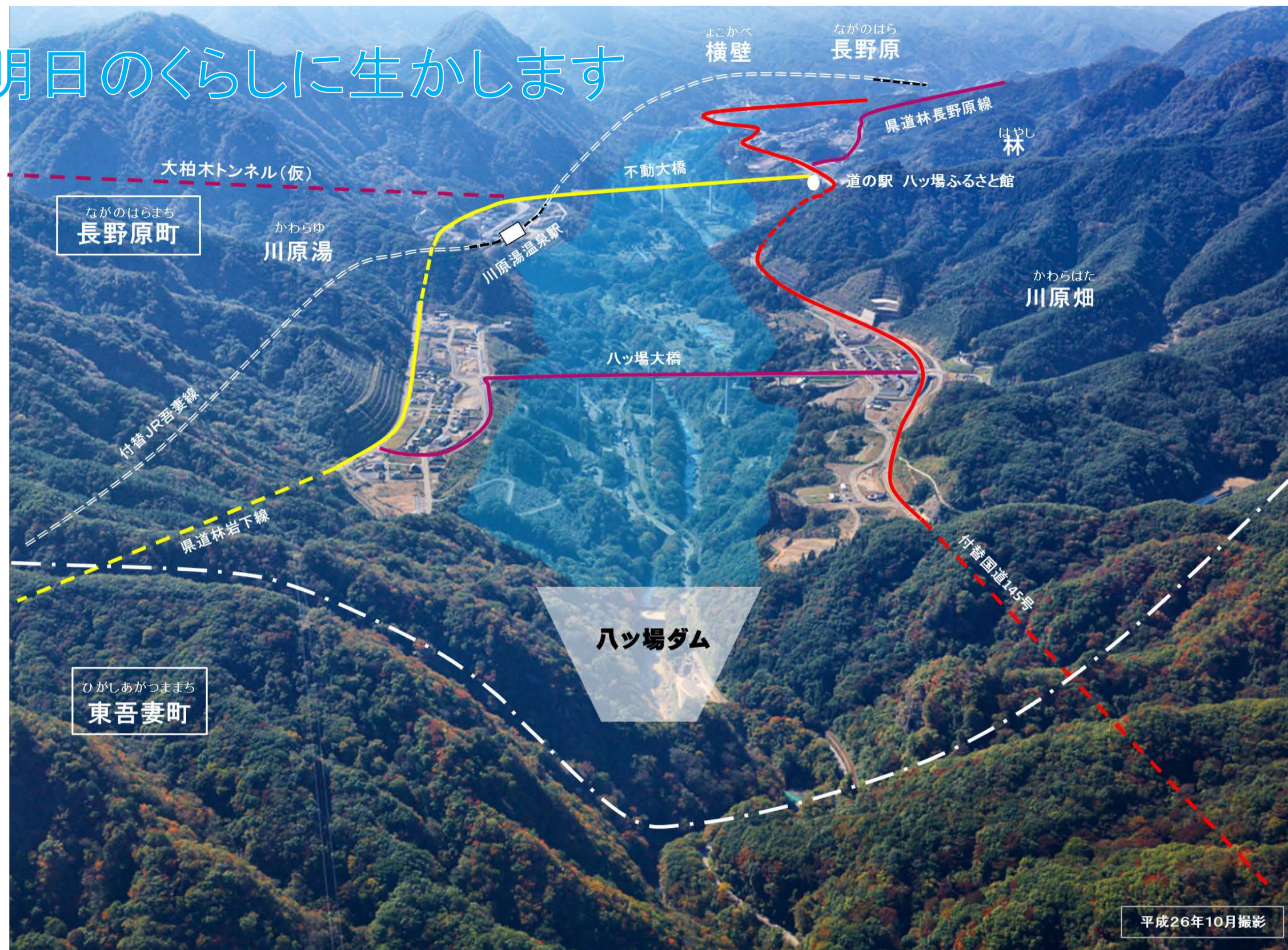
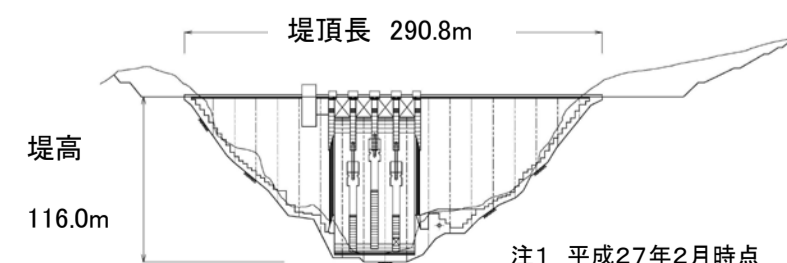
ダム標準断面図 注1



ダム上流面図 注1



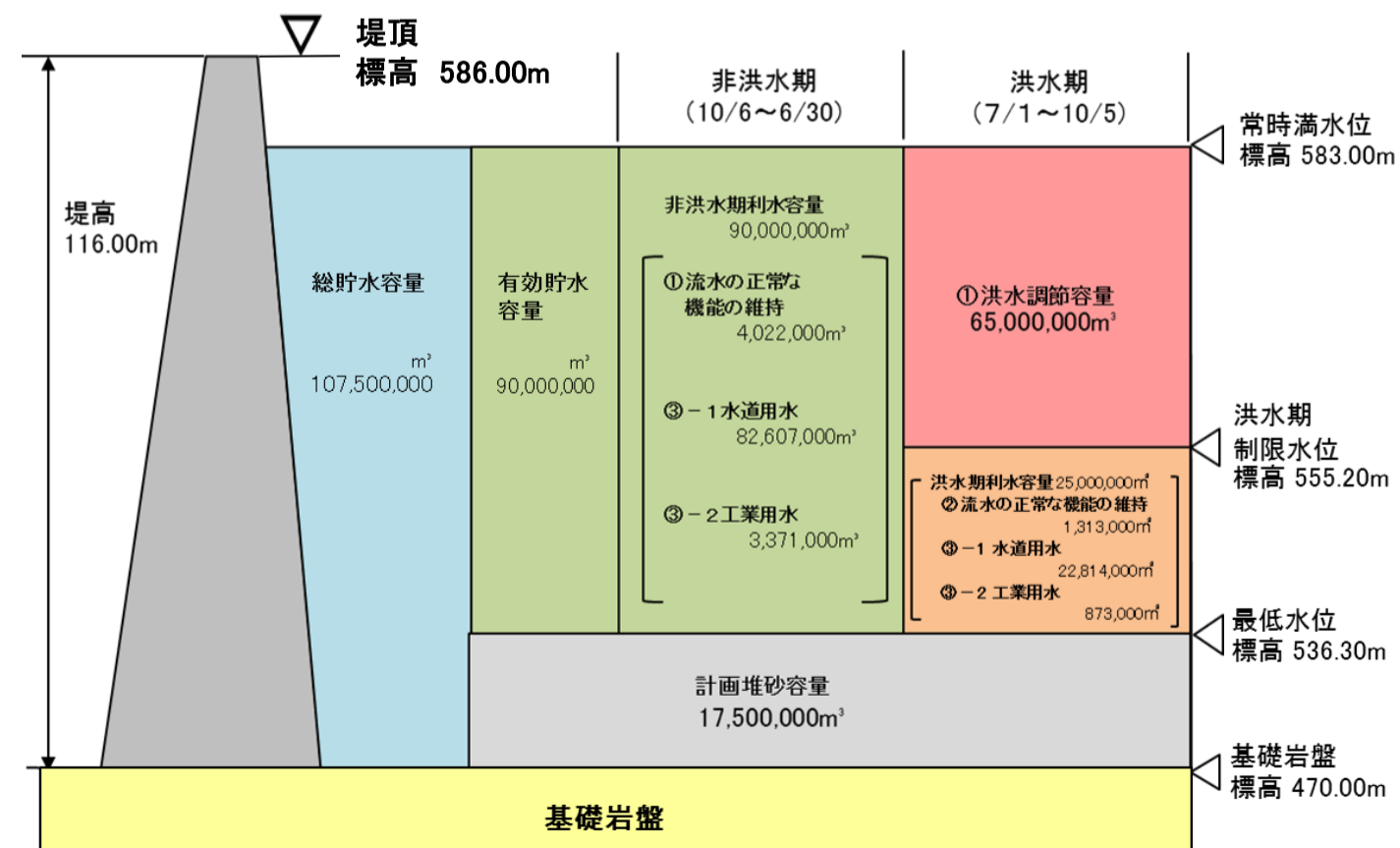
ダム下流面図 注1



●ハッ場ダム 完成イメージ



●貯水池容量配分図



洪水期/梅雨時期、台風やその他豪雨等により、大きな洪水の発生が予想される期間。主に夏から秋。
非洪水期/洪水期以外の期間。

●ダムの概要及び貯水池

【河川名】	利根川水系吾妻川
【ダム位置】	左岸:群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字ハッ場 右岸:群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯字金花山
【ダム型式】	重力式コンクリートダム
【堤高】	116.0m
【堤頂長】	290.8m
【ダム天端標高】	標高 586.0m
【堤体積】	約 911,000m ³ (注2)
【集水面積】	711.4km ²
【湛水面積】	約3.0km ²
【常時満水位】	標高 583.0m
【洪水期制限水位】	標高 555.2m
【最低水位】	標高 536.3m
【総貯水容量】	107,500,000m ³
【有効貯水容量】	90,000,000m ³
【計画堆砂容量】	17,500,000m ³

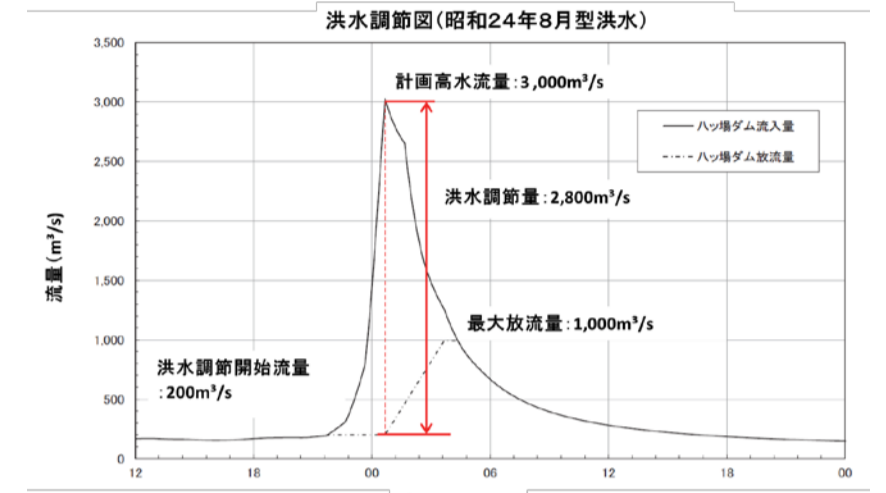
注2: 今後、堤体の設計精査により変わります。

ハッ場ダム建設の目的

①洪水調節

利根川水系河川整備基本方針の基本高水は、そのピーク流量を基準地点八斗島において、22,000m³/sとし、このうち流域内の洪水調節施設により、5,500m³/sを調節して、河道への配分流量を16,500m³/sとしています。

ハッ場ダムは、これら基本方針の洪水調節施設の一つであり、利根川上流部の洪水調節施設と相まって、洪水調節容量6,500万m³をもって、ハッ場ダム地点における計画高水流量3,000m³/sのうち、2,800m³/sの洪水調節を行い、利根川の基準地点八斗島において洪水時のピーク流量を低減させ、治水安全度の向上を図ります。



※この図は、ダムからの放流量がダムへの流入量を下回っている状況における洪水調節操作を模式的に示したものです。

②流水の正常な機能の維持

ダム下流に位置する名勝吾妻峡の景観等を保全するための流量を確保し、吾妻川の流況の改善を図ります。

③新規都市用水の供給

群馬県および下流都県の新規都市用水として、最大22,209m³/sの供給を可能とします。

③-1 水道用水(最大21,389m³/s)

群馬県、藤岡市、埼玉県、東京都、千葉県、北千葉広域水道企業団、印旛郡市広域市町村圏事務組合、茨城県

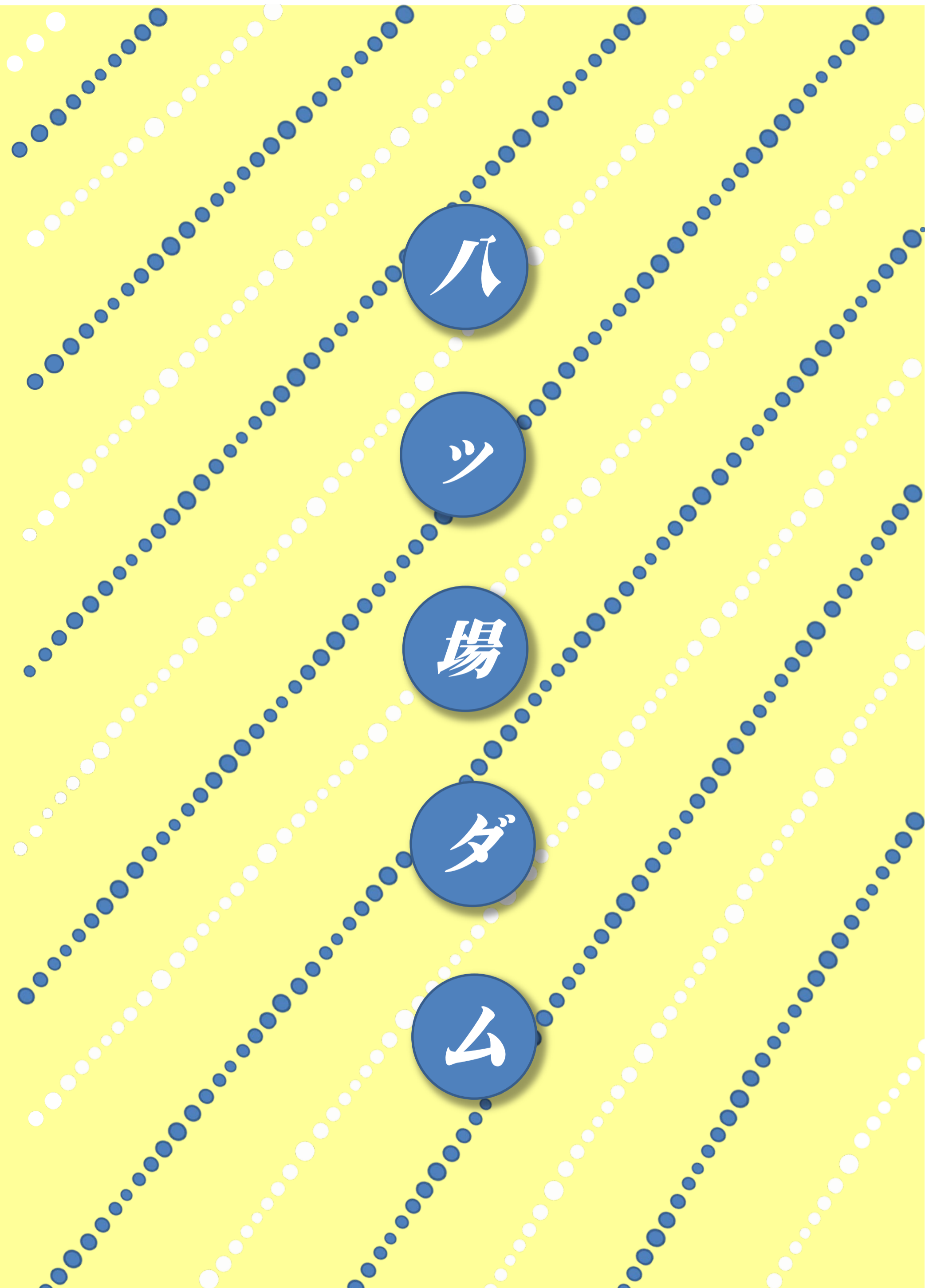
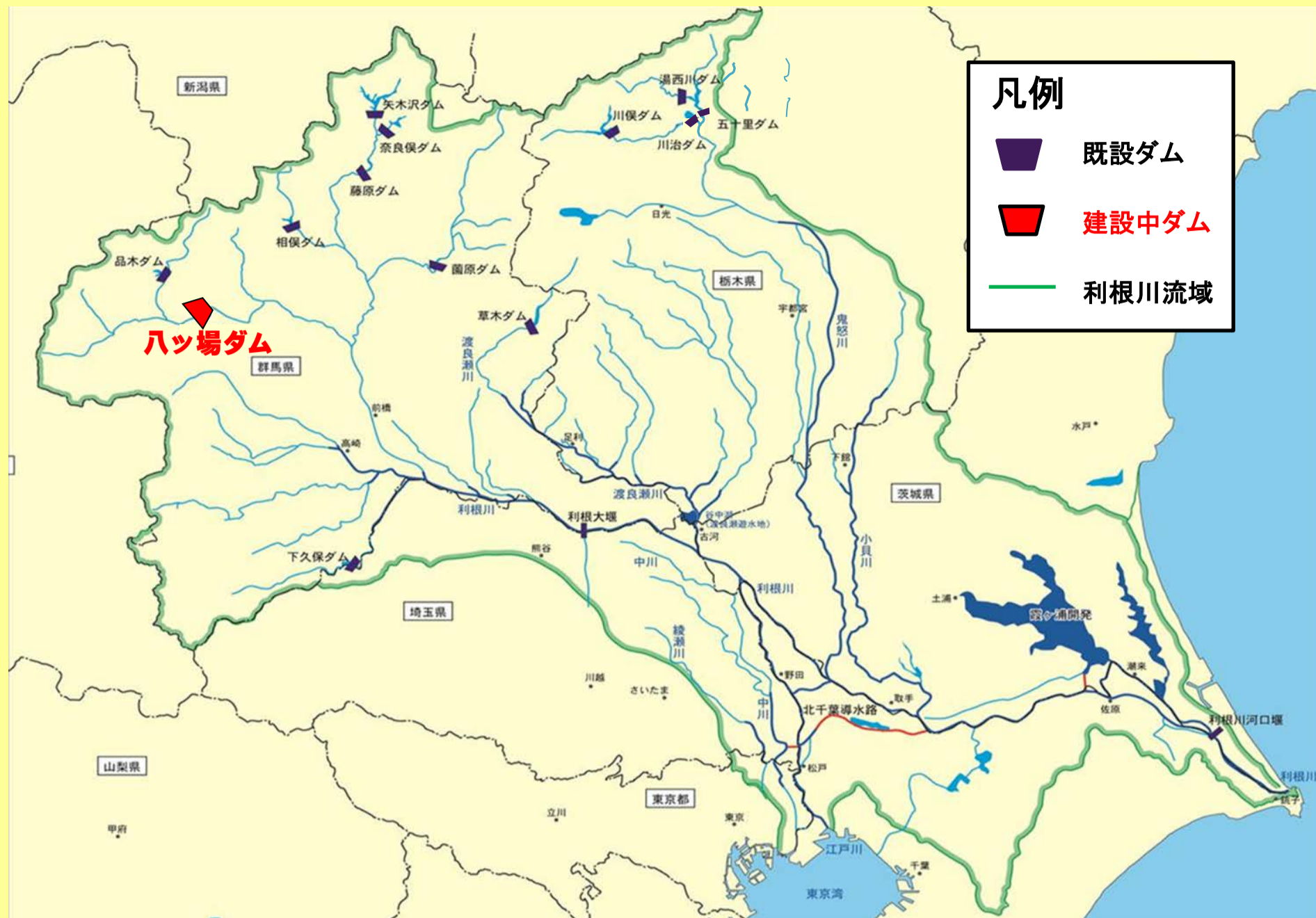
③-2 工業用水(最大0.82m³/s)

群馬県、千葉県

④発電

ダム下流に群馬県により新設されるハッ場発電所において、最大出力11,700kWの発電を行います。

ハツ場ダム位置図



案内図



国土交通省関東地方整備局
ハツ場ダム工事事務所

〒377-1395 群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋11
TEL:0279(82)2311 FAX:0279(82)4064
<http://www.ktr.mlit.go.jp/yanba/>

5. 重点プロジェクト

前橋市が目指すべき望ましいまちを実現するにあたっては、複数の関連する事業を一つのプロジェクトとして実施することで、個別に着手するよりも大きな効果を発現することが期待できます。

そのため、特に本計画策定後おおむね5年以内に効果発現が期待される複数の関連事業を一つのプロジェクトとして重点的に取り組みます。

1. 中心市街地の土地利用増進や魅力ある都市空間整備によるにぎわい創出

■整備方針

中心市街地の土地利用増進施策や魅力ある都市空間整備により、まちなか回遊性を向上し、中心市街地を再生します。

中心市街地は都市の様々な生命活動を結びつけ、都市全体に浸透させるための結節点となる「生命都市いきいき前橋」の顔です。しかしながら、集積機能の低下や市街地の拡散により中心市街地の魅力が低下しています。そこで、多くの人が集い、行き交い、にぎわいある魅力的な中心市街地を形成するため、土地利用増進施策や生活利便性の高い魅力ある都市空間整備により、まちなか回遊性を向上し、中心市街地を再生します。

目的1: 中心市街地の土地利用増進

中心市街地の魅力を高め、活力を創出するため、民間活力の導入促進やまちなか居住の推進により土地利用増進を図り、中心市街地を再生します。

目的2: 中心市街地の魅力ある都市空間整備

中心市街地の求心力向上のため、円滑な移動手段の確保、景観に配慮した都市空間整備や、商店街の機能更新、交流拠点の機能連関や市民の交流の場となる活動空間を整備します。

活性化推進組織の設置支援	回遊性向上事業の充実
公的不動産の有効活用(低未利用地の集積等)	市民交流の場となる活動空間の整備
中心市街地空間化対策	地域課題解決に向けた共同研究促進
中心市街地の求心力向上のため、まちづくり会社設立の検討、低未利用地の集積による公的不動産の有効活用、商店街やオフィスの空間化対策などを行う。	交流拠点の機能連関や市民交流の場となる活動空間の整備など、交流によるにぎわい創出を図る仕掛けを提案・施行により、まちなかの回遊性の向上を図る。
公的不動産の有効活用	千代田町三丁目土地区画整理事業
業務機能集約による利便性向上や中心市街地との連携強化のため、市庁舎周辺整備を検討する。	広瀬川河畔の景観形成重点地区の指定
本町二丁目五差路交差点改良	中心市街地の魅力を高めるため、広瀬川河畔等の自然環境を保全し、景観に配慮した都市空間整備をします。
前橋駅・中央前橋駅間新交通(LRT等)の検討	市街地総合再生計画作成業務
前橋駅前道路改善事業	優良建築物の整備促進
前橋駅から中心市街地までの歩道等を改修し、歩行者に優しい環境を整備する。	市街地再生総合計画を作成し、優良建築物の地区面積要件緩和や住宅型以外の事業も助成対象とすることで、民間開発を誘導し、中心市街地の土地利用を増進する。
JR活性化事業	まちなか定住促進施策の検討・実施
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	まちなか居住を促進するため、若年層の居住促進施策の実施のほか、まちなか定住促進施策の検討・実施し、住宅支援を行う。
鉄道バス乗り継ぎ円滑化等事業	JR活性化事業
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	前橋駅を活性化するため、両毛線の複線化や東武鉄道両毛線乗り入れの検討を行う。
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	鉄道バス乗り継ぎ円滑化等事業
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	JR前橋駅や中央前橋駅の乗り継ぎ円滑化を推進するため、鉄道・バスの連携強化や路線のわかりやすい情報提供を図る。
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討
前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討	前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討

■プロジェクトの策定基準

課題分析した結果から取り組むべき課題は多いですが、質の高い行政サービスを維持し、誰もが快適に暮らせる都市環境を持続するため、まちの顔となる中心市街地の再生は急務であることから、中心市街地の再生に重点を置いた事業を1つのプロジェクトとして策定します。

2. 公共交通利便性向上等による低炭素型拠点集約都市構造の推進

■整備方針

都市の拡散を抑制するため、郊外部の都市機能の集約を図り、公共交通の利便性向上により中心市街地と連携を強化します。

人口減少と高齢化が進行するなか、市街地の拡散により市民生活の利便性の低下や社会資本の維持管理費が増加するなど行政コストが増えることが懸念されます。そこで、持続可能なまちを実現するため、郊外部の都市機能を集約化し、公共交通の利便性の向上等により、中心市街地及び各地区を有機的に結びつけ、過度の自動車依存から脱却することで、低炭素で持続可能なまちを目指します。

目的1: 集約都市構造の推進

郊外部でのまちなかまわりを維持し、都市的土地利用の拡散を抑制するため、地域の拠点等に都市機能を集約します。

目的2: 利用しやすい公共交通体系整備

過度の自動車依存から脱却し、道路混雑の軽減を図り、安全及び円滑な移動サービスを実現するため、地域の拠点から中心市街地まで便利で利用しやすい公共交通を維持し、アクセス性を高めます。また、駅を中心とした公共交通の利便性を強化することにより、市民の利用を喚起し、鉄道駅を中心とする動きを強めます。

目的3: 都市環境に配慮した道路整備

歩行者のスムーズな動線確保や交通渋滞、通行規制を緩和するため、都市環境に配慮した道路整備を行います。

都市計画区域統合及び特定用途制限地域指定
非線形な大胡・宮城・柏川・富士見都市計画区域を統合し、用途別地域に特定用途制限地域の指定を行うことで、拡散を抑制し、「まちなかまわり」を維持する。

全域デマンド化検討
移動困難者や公共交通不便地域を中心として各地区から駅や中心市街地等への交通手段を確保するため、デマンド交通の導入を検討する。

群馬総社駅周辺整備事業
総社駅周辺地区は、地域拠点のひとつであり、西口整備などの交通結節点強化により、生活利便性向上を図る。

上毛電鉄維持活性化事業
大胡・宮城・柏川地区から公共交通によるアクセスを向上するため、パークアンドライドを促進します。

前橋駅・中央前橋駅間新交通(LRT等)の検討
JR前橋駅と中央前橋駅との連携を強化するため、新交通(LRT等)の検討を行う。

本町二丁目五差路交差点改良
歩行者のスムーズな動線確保や交通渋滞、通行規制を緩和するため、五差路交差点を改修する。

JR活性化事業
前橋駅を活性化するため、両毛線の複線化や東武鉄道両毛線乗り入れの検討を行う。

鉄道バス乗り継ぎ円滑化等事業
JR前橋駅や中央前橋駅の乗り継ぎ円滑化を推進するため、鉄道・バスの連携強化や路線のわかりやすい情報提供を図る。

前橋駅北口パークアンドライド駐車場整備の検討
前橋駅の利便性向上のため、駅前に立体駐車場を整備の検討を行う。

前橋駅前道路改善事業
前橋駅から中心市街地までの歩道等を改修し、歩行者に優しい環境を整備する。